

俳句の会「芦火」

☆柑蘆同人誌「芦火」第738号（令和七年八月号）

- ・表紙：「初秋」
- ・来月号（九月号）の兼題



＜季語：初秋（はつあき）（初秋・時候）：子季語：初秋（しよしゅう）、秋口、新秋、秋初め、秋浅し＞

- ・秋の初めをいい、陰暦7月、陽暦ではほぼ8月に当たる。暑さは残っているが、いつとはなく涼しさも加わり、また雲や吹く風に秋が感じられるようになる。特に朝夕の涼しさに秋に入ったことを肌で感じる。

「有名俳人の句」

- | | |
|------------------|-------|
| ・初秋や余所の灯見ゆる宵のほど | 与謝蕪村 |
| ・冷え冷えと闇のさだまる初秋かな | 飯田蛇笏 |
| ・綿菓子を買ふうれしさも秋はじめ | 野村日出子 |
| ・新秋や図鑑の魚の動きだす | 小澤克己 |
| ・星飛んで高原は秋早かりし | 福村青纓 |
| ・初秋の蝗つかめば柔かき | 芥川龍之介 |
| ・オホーツクの初秋にして浪静か | 鎌田薄氷 |

☆高得点者および高得点句

＊前月の清記表に記載された9名の45句のなかから互選の結果、以下の同人が高得点者となりました。併せて高得点句も掲載します。

<高得点者（敬称略）>

19点 温州、15点 恵吾、12点 勝、9点 草炎・善富

<高得点句（4点以上）>

- ・万緑の溪より木霊返り来ぬ／恵吾・・・・・・・・・・7点
- ・ダービーや馬券売り場に淑女みて／勝・・・・・・・・6点
- ・軽快なサンバのリズムアマリリス／温州・・・・・・・・6点
- ・千枚の植田に浮かぶ白き雲／温州・・・・・・・・・・6点
- ・田舎家の開き放たれて若葉風／善富・・・・・・・・・・5点
- ・母を待つ子に六月の暮遅し／草炎・・・・・・・・・・4点
- ・廃校の主は小さな守宮かな／恵吾・・・・・・・・・・4点

☆その他のトピックス

① 今月号の清記

◎今月は10名の方が合計49句を出句されました。

② 近況報告および通信

◎故・笹岡頭一郎さん追悼文（勝さん）

・先月号で勝さんより同人・笹岡頭一郎さんの訃報について以下のご報告がありました
が、今月号では更に詳しく笹岡様を偲ばれる追悼文を記載されました。

『同人・笹岡頭一郎さんの娘さん・山本かおりさんより、笹岡さんが令和五年八月に
ご逝去されていたと、勝さん宛に電話があったとご報告がありました。

笹岡さんは昭和八年七月九日生まれで享年九十歳ということになります。 合掌』

◎近況報告

・善富さん、碧亥さん、草炎さん、要さんからそれぞれ近況報告がありました。

◎小説『被爆した長崎医科大へ 神戸から』を読破しての感想（六甲さん）

・六甲さんより近況報告とともに、以下随想文の投稿がありました。

神戸で毎週開催されているある会合でいつも顔を合わしている児童文学作家・鳥居真知子さんが、原爆投下直後の長崎で救護活動に奔走した医師や医学生らを描いた小説『被爆した長崎医科大へ 神戸から』を自費出版されたそうで、六甲さんもそのご本を頂いたそうです。

六甲さんの少年・青春時代の出来事を詳しく記述されているこの小説の主人公は旧制神戸一中（現・神戸高校）を卒業し、長崎医大へ進学し、長崎で被爆をも経験しつつも救護活動をする様子なども描かれているそうです。

六甲さんは、「昔を思い出し、共感し、一気に読破した。」そうで「悲しくも美しい青年の物語」との感想を述べられています。

◎「芦火」を継続発刊するために（提案その②）（温州）

- ・本年一月に同人の減少を食い止め、増強に繋げるための提案が同人各位から提出されその提案の一部が実行に移されましたが、減少傾向に歯止めが掛からない状況が続いています。

そこで、小生（温州）は改めて以下の提案を出し同人の意見を伺うことにしました。

☆同人の範囲を経済学部OB、OGに限定せず、和歌山大学全学部のOB、OG並びに教職員、現役学生にも広げる。

勧誘の方法は従来通り、友人、知人を頼っての個別勧誘とともに、柑芦会ホームページ、柑芦会公式フェイスブック等のSNSを活用しての勧誘並びに各支部幹部を経由しての勧誘等。

なお、既に実行に移されている改善点は以下の2点ではありますが、同人の負担が軽減されたことは事実であります。

- ・出句数および選句数を減らす。
出句数（7句 ⇒ 5句に変更）
選句数（10句 ⇒ 7句に変更）
- ・「切り捨て御免」のコーナーは従来の得点トップの同人の義務ではなく、同人の誰でも建設的な意見を述べる事が出来るという形に変更。

<俳句の会「芦火」概要>

- ・会員は柑芦会会員
- ・現在の会員は大学3期卒から25期卒の10名
- ・昭和38年（1963年）結成・・・約60年の歴史
- ・会員の作句は通信俳句誌「柑蘆同人誌・芦火」に掲載され毎月各人に配付
- ・創刊以降毎月発刊。令和4年（2022年）6月に第700号発刊。
- ・50号ごとに句誌を発刊。令和4年5月に「芦火第14号句集」発刊
- ・創刊時からの延べ会員数、72名（高商32名、高商教授1名、大学39名）

<編集者・コンタクト先および会費>

- ・編集者：穂永 千秋（大学17期）（俳号：穂心）
メールアドレス：suishin2010@dream.ocn.ne.jp／携帯：090-9887-2513
- ・その他のコンタクト先：
 - ・山下 勝（大学14期・前編集者）（俳号：勝）
メールアドレス：yama723@nifty.com／携帯：090-1349-6727
 - ・平林 義康（大学20期）（俳号：温州）
メールアドレス：hirabayashi9497@yahoo.co.jp／携帯：090-8525-7293
- ・会費：年会費1万2千円

以上
(文責：平林 温州)